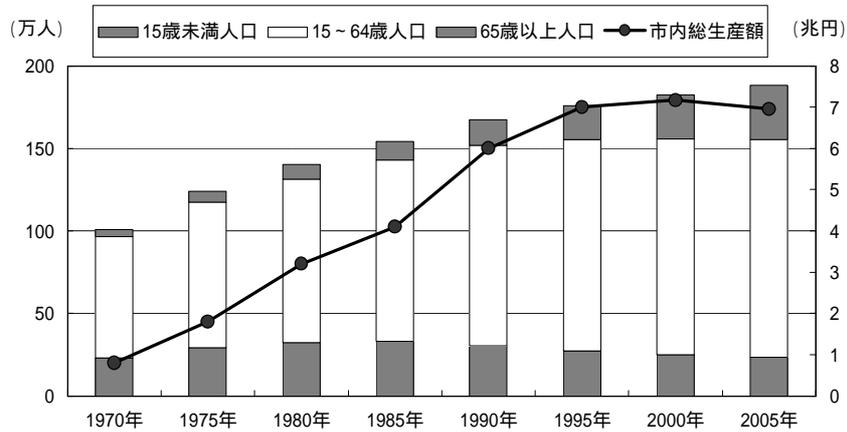


## 1-1-2 経済活力の低下

### (1) 経済成長の鈍化

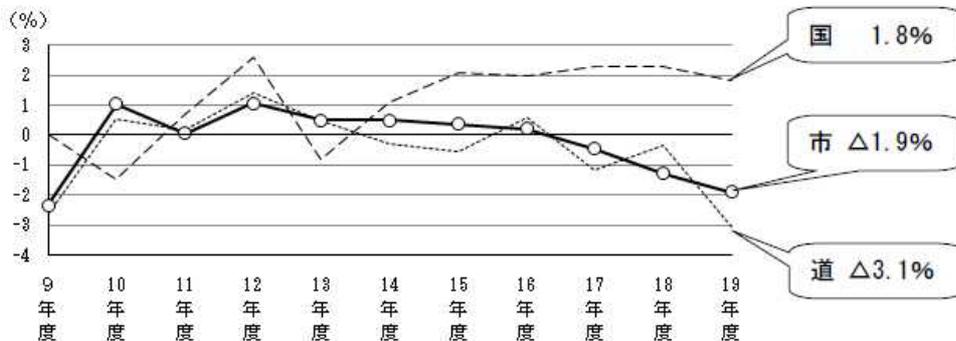
#### 三次産業主体で高い道内シェアを占める札幌市。その経済活動は低迷。

- ・高度経済成長期から順調に伸びてきた市内総生産額であるが、近年は不景気や生産年齢人口の伸び悩みから低迷している。
- ・近年の実質経済成長率は、北海道、札幌市ともに全国に比べ低い。
- ・札幌市の産業構成は「サービス業」「卸売・小売業」などの三次産業の比率が高く、これら産業の対北海道シェアは高い。(次頁図)
- ・北海道経済を牽引する札幌市の経済活性化が求められる。



資料：札幌市経済局

図 1-8 札幌市内総生産額と年齢階層別人口の推移



<資料> 内閣府「平成20年度国民経済計算」、北海道「平成19年度道民経済計算」、市長政策室政策企画部企画課

資料：平成19年度 札幌市民経済計算

図 1-9 実質経済成長率(札幌市・北海道・全国)の推移

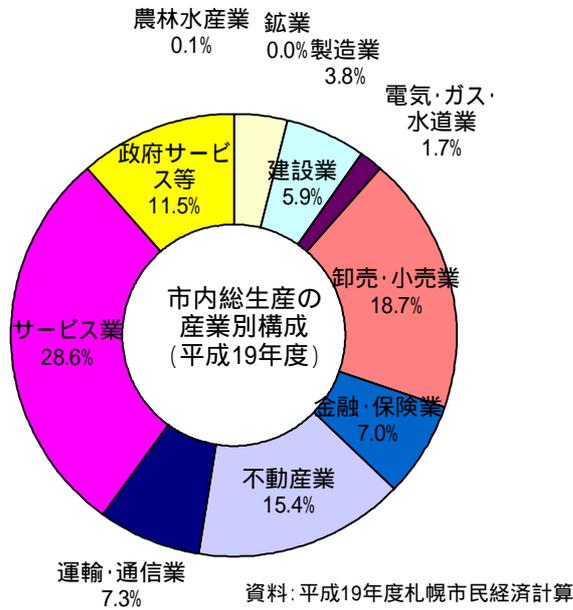
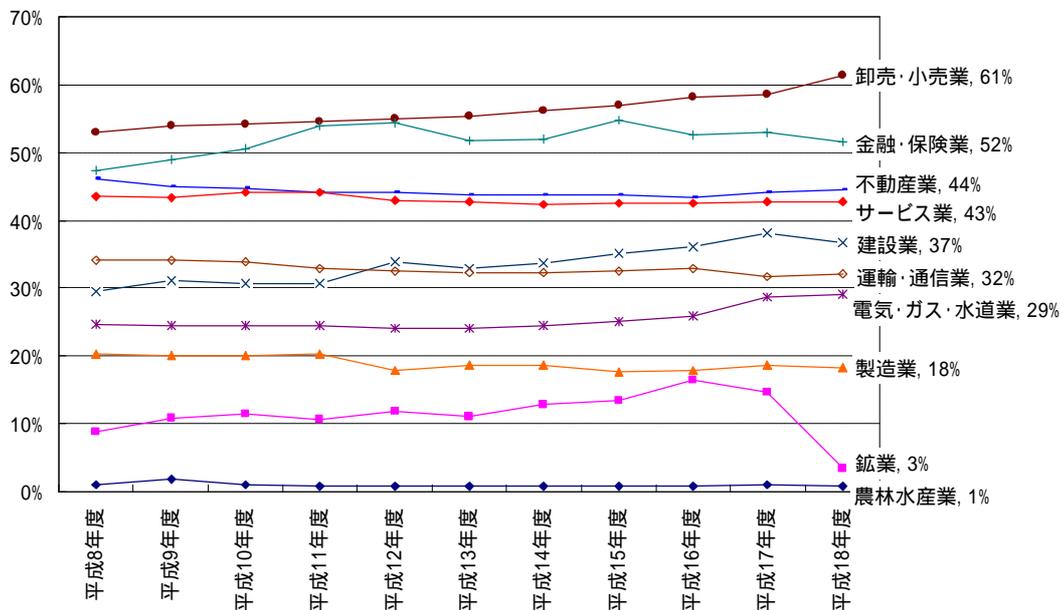


図 1-10 札幌市の経済活動別総生産の構成比推移



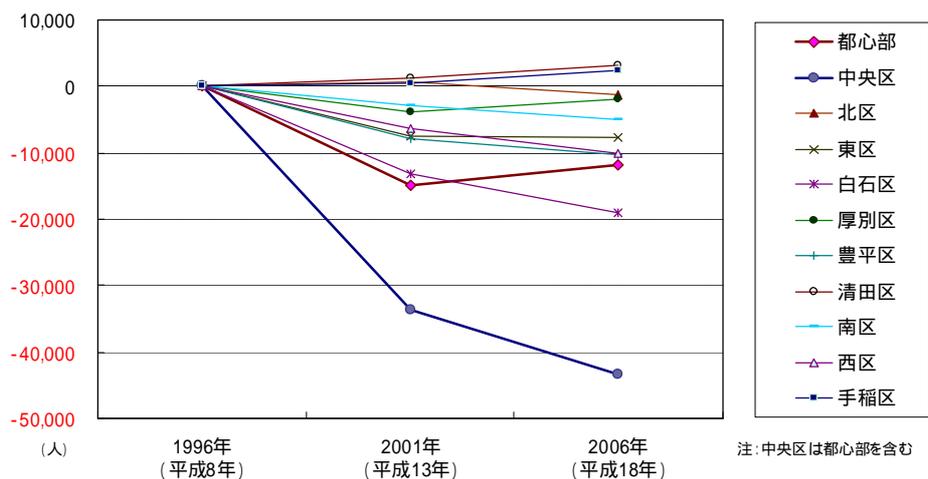
資料：道民経済計算年報（北海道）札幌市民経済計算（札幌市）

図 1-11 札幌市内各産業の対北海道シェア推移

## (2) 従業者数の変化

### 従業者数が減少。とくに中央区で大幅に減少。

- ・ 中央区の従業者数は大幅に減少している。
- ・ 郊外部では従業者数の増加が見られるが、既存市街地では再開発など一部地域を除き従業者数は減少傾向にある。



資料：事業所統計

図 1-12 区別の従業者数の推移

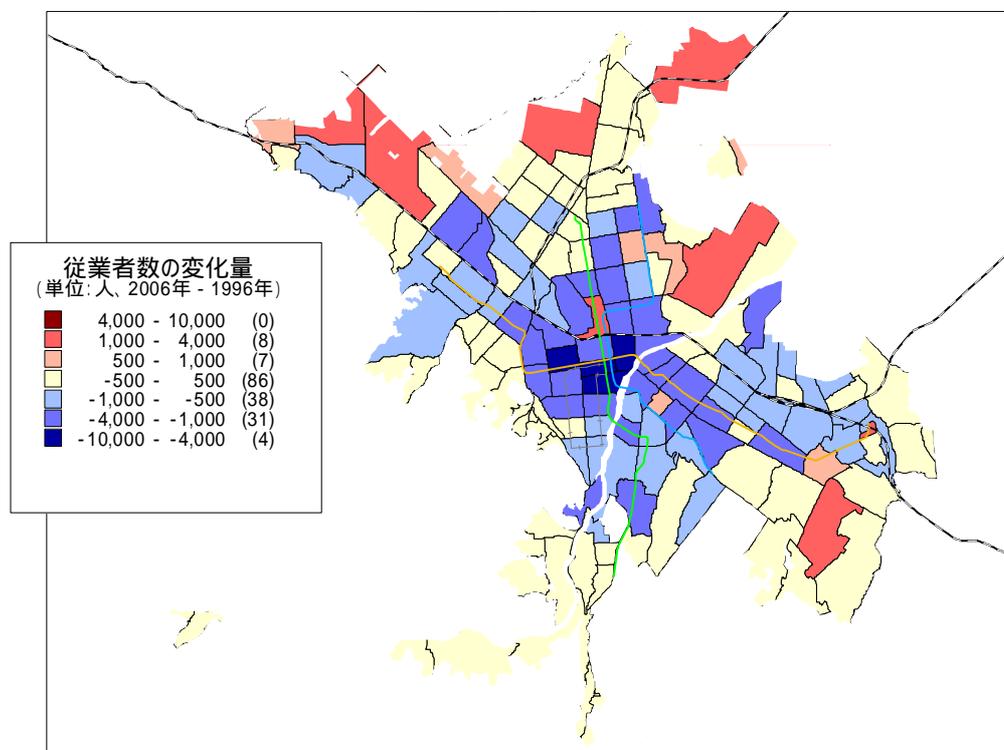


図 1-13 従業者数の地域変化

資料：事業所統計

(3) 商品販売額の変化

中央区の商品販売額が減少。とくに卸売販売額が大幅に減少。

- ・ 中央区の商品販売額は大幅に減少している。
- ・ 小売販売額は大規模店舗が出店した地区で増加。それ以外では減少傾向。
- ・ 卸売販売額が大幅に減少。

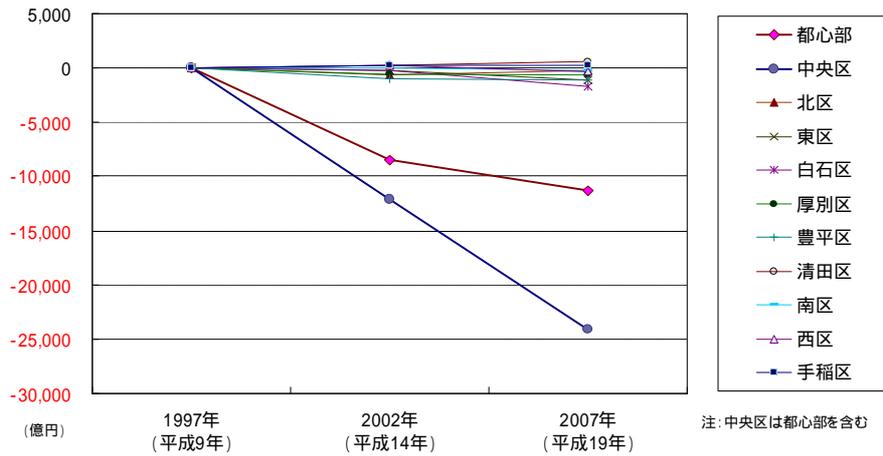


図 1-14 区別の商品販売額の変化 資料：商業統計

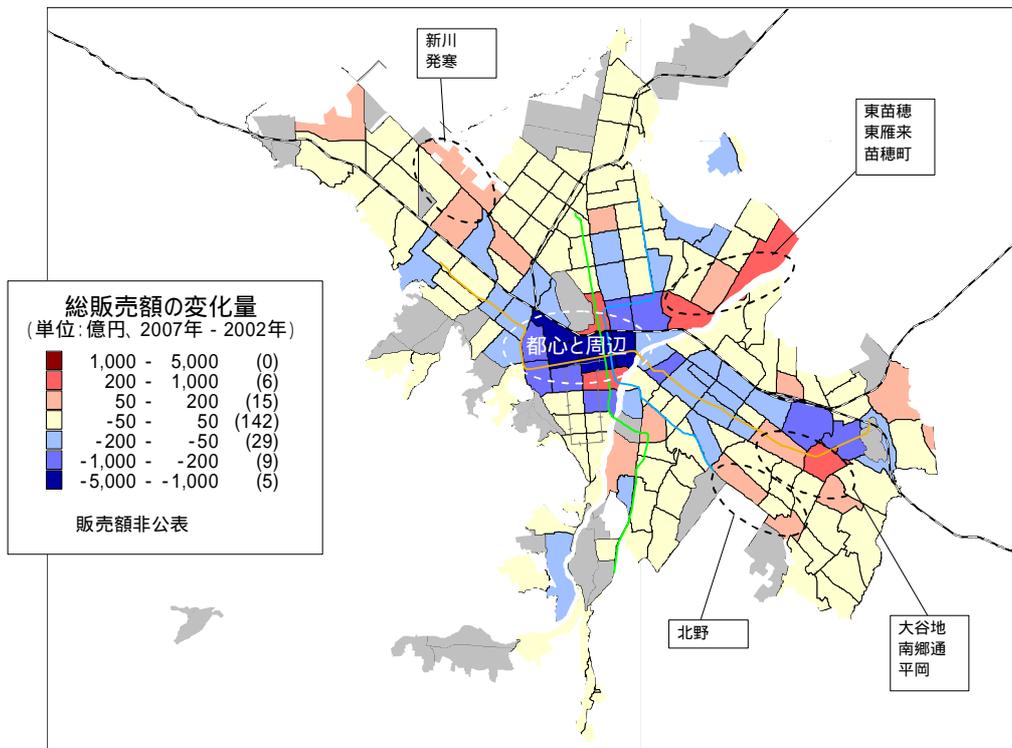


図 1-15 商品販売額 (卸売・小売の合計) の地域変化 資料：商業統計

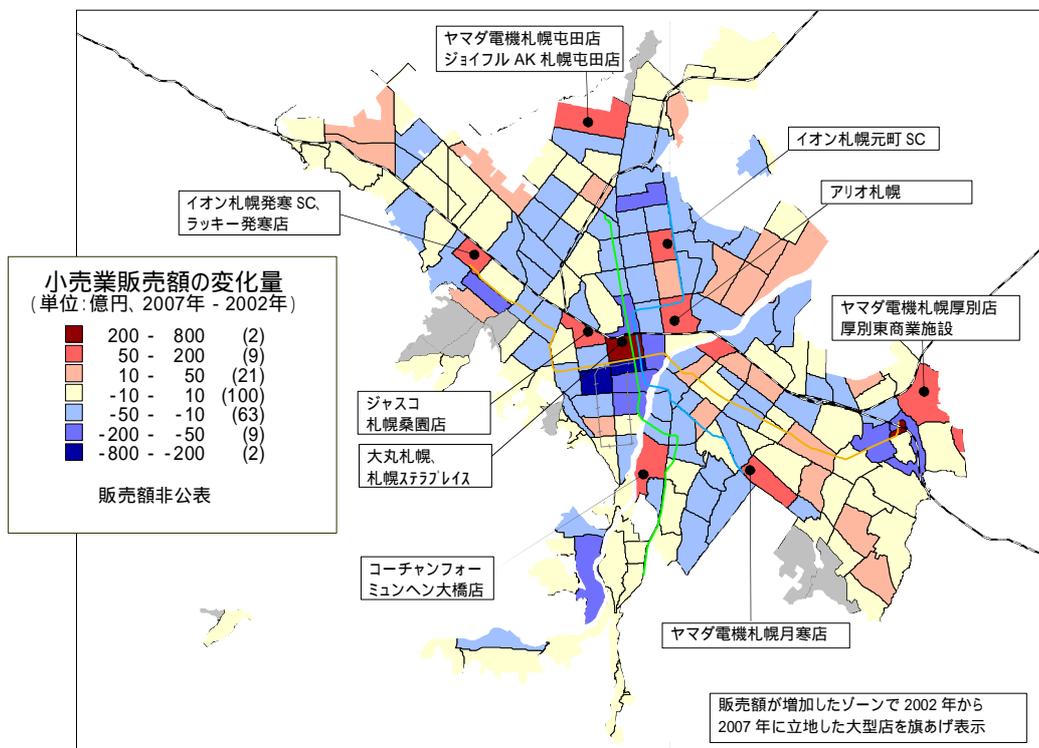


図 1-16 小売業商品販売額の変化 資料：商業統計

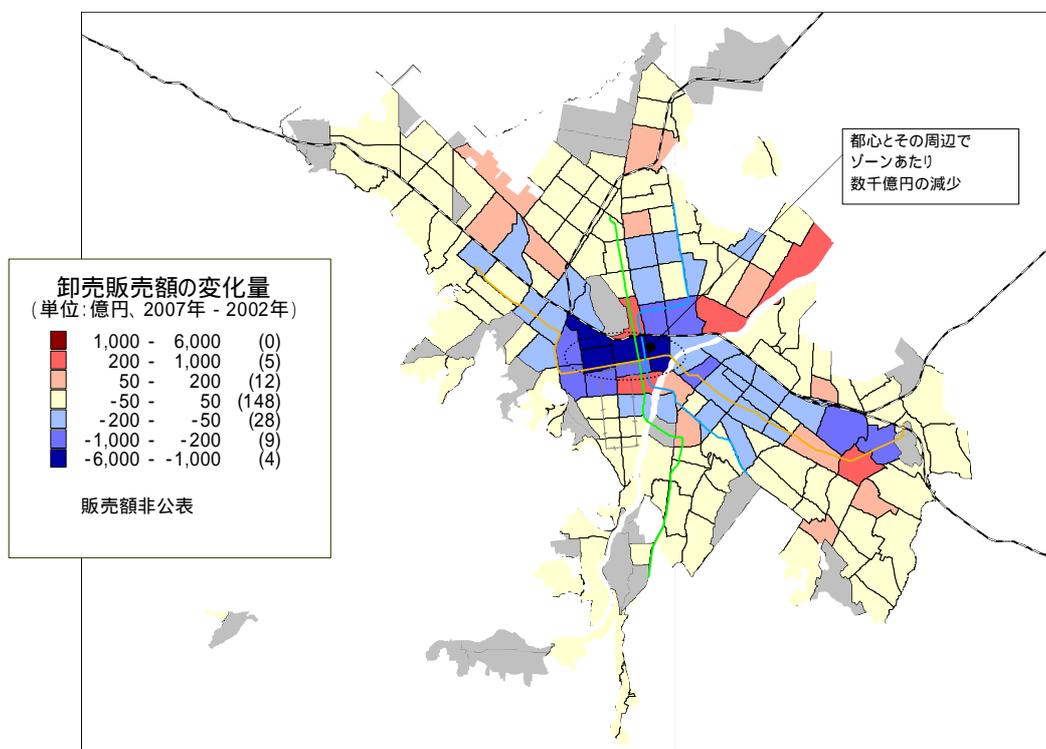


図 1-17 卸売業商品販売額の変化 資料：商業統計